

事業名称：但馬でパーキンソン病と暮らす方の交流会「おどりんさるカフェ」
 団体名：一般社団法人ダンストーク

1 事業内容

事業の名称 但馬でパーキンソン病と暮らす方の交流会「おどりんさるカフェ」

日時 2025年①8月22日(金)、②10月31日(金)、③11月20日(木)、④11月21日(金)、
 ⑤12月12日(金)、⑥2026年1月30日(金)

場所 ①但馬県民局、④⑥芸術文化観光専門職大学、②③⑤但馬長寿の郷
 内容

- ・但馬地域に居住するパーキンソン病患者とその家族・支援者等を対象に、福岡で開発されたダンスプログラムで、パーキンソン病に特化したダンス活動「PD ダンス」を実施。PD ダンスは薬とアクティビティの両立による QOL 向上を追求する。
- ・第3回となる11/20,21は福岡から開発者でダンスアーティストのマニシアさんを招聘し、但馬地域(豊岡・養父)にてPDダンスワークショップおよび交流会(カフェタイム)を実施した。
- ・残りの3回は「PD ダンス」ファシリテーター養成講座を受講した豊岡のダンスアーティストが講師となり、豊岡・養父でダンスワークショップおよび交流会(カフェタイム)を4回開催した。
- ・本事業は、豊岡健康福祉事務所・朝来健康福祉事務所の保健師、豊岡病院の医師や作業療法士・理学療法士、芸術文化観光専門職大学古賀研究室など、医療・福祉・教育・芸術の各領域を専門とする組織が連携することで実現した。
- ・開催地を北部エリア(豊岡市)・南部エリア(養父市)に分けることで、但馬全体を対象とした支援ネットワークづくりの足がかりをつくった。

【参加者の対象】

豊岡健康福祉事務所管内:豊岡市、香美町、新温泉町
 朝来健康福祉事務所管内:養父市、朝来市

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
6月下旬～ 7月	チラシ制作・校正・配布	豊岡健康福祉事務所管内、朝来健康福祉事務所管内	—
8月19日	プログラム事前打合せ	オンライン	6名
8月22日	おどりんさるカフェ@豊岡	兵庫県豊岡総合庁舎 401 会議室	参加者5名 スタッフ9名
10月10日	おどりんさるカフェ@豊岡	兵庫県豊岡総合庁舎保健所棟 1階多目的ルーム	参加者3名 スタッフ16名
10月31日	おどりんさるカフェ@養父	但馬長寿の郷 音楽堂	参加者11名 スタッフ8名
11月20日	PD ダンス(対面)in 養父	但馬長寿の郷 郷ホール	参加者3名 スタッフ12名
11月21日	PD ダンス(対面)in 豊岡	芸術文化観光専門職大学 実習棟ホワイエ	参加者7名 スタッフ10名
12月12日	おどりんさるカフェ@養父	但馬長寿の郷 郷ホール	参加者9名 スタッフ7名
1月30日	PDダンス(オンライン)in 豊岡	芸術文化観光専門職大学 1階教室	参加者4名 スタッフ6名
2月17日～ 28日	2025 年度反省会・次年度 へ向けて打合せ、調整	オンライン	3名

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

- ・パーキンソン病患者や家族同士が地域内でつながりを持ち、悩みを共有できる相手と出会うことで孤立感を軽減し、ダンスという自己表現をする場を持つことで、心身の健康の向上と生活の質の向上を目指す。
- ・医療・福祉・芸術の分野を横断した協働の実践により、地方都市における持続可能な福祉のあり方を提示する。
- ・文化芸術を「医療・福祉と接続する実践」として地域内に根付かせていくことで、地域課題に創造的に取り組むまちづくりを推進する。
- ・但馬地域で上記のような活動を牽引していくことができる人材の活用と育成につながる。

(2) 地域への波及

- ・身体を動かし、病気の悩みを共有し語り合う場を継続的に開くことにより、患者同士が励まし合い前向きに病気と向き合う姿が見られた。
- ・保健師や医療関係者と PD 当事者がリハビリや診察ではない場で交流することができるので、患者の新たな側面に気づき普段のケアに活かすことができたという意見もあった。
- ・特に継続していくためには PD に特化したダンスワークショップをファシリテートすることができ、但馬地域の人々の気質や風土を熟知した上でのワークショップ内容の企画立案やファシリテートが重要となることがわかった。

3 協働の相手方

- ・芸術文化観光専門職大学古賀研究室：コーディネート、会場・機材手配、一般社団法人パラカダンスとの連携、事業評価
- ・豊岡健康福祉事務所：患者への広報、医療関係者との情報交換、各回開催時の現場での患者サポート
- ・朝来健康福祉事務所：患者への広報、医療関係者との情報交換、各回開催時の現場での患者サポート
- ・

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

2026 年度も但馬地域において年間を通して継続的に当プログラムを開催する。資金面では、日本フィランソロピック財団による「パーキンソン病 QOL 基金」へ助成申請済みで、外部資金を確保しながら活動を継続していく。養父市においては公益財団法人医療文化経済グローバル研究所とも連携予定である。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

事業開始から 3 年目となる 2026 年度は、芸術文化観光専門職大学の古賀研究室を中心に、福祉・医療機関（医師、作業療法士、理学療法士）、豊岡/朝来健康福祉事務所、社会福祉協議会等との連携会議を行い、実践の過程や成果、協働のあり方について調査し、地方におけるパーキンソン病支援のための協働モデルの事例として可視化し、共有する報告書を作成する。



2025/11/20 PD ダンス（対面）in 養父



2025/12/12 おどりんさるカフェ@養父